

図書館だより

天理高校 図書館 2025 年 9 月

読書の秋の始まりです



『今日は、お日柄もよく』

原田 マハ 著 徳間書店

☆おすすめポイント

主人公が言葉を武器に自分の世界を切り拓いていく成長物語で、一つの言葉、一つのフレーズがどれほど人の心を動かすのかが実感できる。

☆こんな人に、こんな理由で！

実際のスピーチや文章表現がたくさん登場するので、話す、書く力を磨くこともできるので、言葉や文章、スピーチに関心がある人に薦めたいです。（社会科 乾誠先生）

『君に読ませたいミステリがあるんだ』

東川 篤哉 著 実業之日本社

☆おすすめポイント

作者は、ドラマ化、アニメされた『謎解きはディナーのあとで』をてがけた東川篤哉。知ってる!と少し身近に感じた人もいるのでは?そんな作者がこの作品の制作秘話で「隙あらば“伏線”とギャグを」と語っている。そして、最後まで読むことで分かる大どんでん返しの予想できない結末が待っている。

☆こんな人に、こんな理由で！

読書習慣がない、長編が苦手、忙しいという人でも気軽に手に取ってほしい。一話ごとに完結する短編ミステリは5作あり、それぞれボリュームが大きいので、挑戦しやすい。最後まで読み切った、もっと読みたい!という人は同じ舞台、違う登場人物による『鯉ヶ窪学園探偵部シリーズ』もぜひ!（Ⅱ部 家庭科 中嶋千智先生）

「2024年度多読賞受賞者からのおすすめ本」

『カフネ』 阿部 暁子 著 講談社

☆おすすめポイント

「カフネ」とは、ポルトガル語で“愛する人の髪にそっと指を通す仕草”を意味する言葉です。この本は「カフネ」という言葉であらわされるような人と人との繋がり、愛情、そして心の温かさを再認識させてくれる1冊です。カフネをしたいと思える相手に出合った時、またはもう出会っている人もこの本を手にとって、その魅力を感じてみてください。

☆好きな言葉

「この子にとって何かを作って食べさせてあげることは、『好きだよ』って伝えることなんだって」
(3年O組 福江 はな さん)



9月というのに、まだまだ真夏のような暑さが続っていますが、みなさん、いかがお過ごしですか。2学期も新着本や、特別展示本など、どんどん本を紹介したいと思っています。読みたい本があれば、遠慮なくリクエストしてくださいね。

特集①は新しく天理高校に来られた4人の先生方からのおすすめ本を紹介します。

特集②は2024年度天高多読賞1位の福江はなさんからのおすすめ本を紹介します。

図書館からのお願い

1学期長期貸出で借りた本の返却をお願いします。

返却場所は、返却ポスト、カウンターどちらでもかまいません。

ご協力をお願いします。2学期も、図書館をどんどん

ご利用ください。



「先生方からのおすすめ本」特集!

『GRIT やり抜く力』

アンジュラ・ダックワース 著 ダイアモンド社

☆おすすめポイント

この本は説教するようなやる気や意欲を刺激する文章が長々と書かれているという訳ではなく、成功へと繋がる“GRIT”(やり抜く力)とは一体どのようなもので、どうすればその力を伸ばすことができるのかを所々でキーワードを用いて強調して説明してくれている為、読みやすいものとなっています。

☆こんな人に、こんな理由で!

勉強やクラブ活動で「やる気が起きない」「なかなか結果がでない」と悩んでいる人に、この本を読んで成功への道筋を感じ取ってほしいです。（社会科 小林健太先生）

『DEAD POETS SOCIETY』

N.H. Klenbaum 著 HYPERION

☆おすすめポイント

この小説の中には、「今を生きる、諸君。人生を非凡なものにせよ。」といったキーティング先生から生徒への力強いメッセージが多く登場しますが、それらは読者である私達の心も大きく揺さぶってくれます。また、自分の夢と周りの大人からの期待の間で悩み葛藤する高校生達の苦悩がリアルに描かれています。彼らが先生から何を学び、どう成長していくのか見届けることのできる満足の1冊だと思います。

☆こんな人に、こんな理由で!

今、将来に悩みや不安があり、勇気を貰いたい人、また英語版もあり、原作の映画もあるので、英語の勉強をしたい人にすすめたいです。

(英語科 貴田空先生)



館内写真①「やなせたかし」特集



館内写真②
「先生方からの
おすすめ本」



館内写真③
「いま何時?何
たべよ?」